



使う前に

ここから、^{たんまつ}端末を使った学習がはじまります。

ここでは、^{たんまつ}端末を使う前に知っておくべきことや気をつけておくべきことについて学びます。

最初にチェックしてみよう

- ☐ ^{わたし}私は、^{たんまつ}端末を使うと、どんな良いこと・便利なのがあるか知っていると思う
- ☐ ^{わたし}私は、キーボードで文字を入力することができると思う
- ☐ ^{わたし}私は、^{たんまつ}端末を大切に使っていると思う
- ☐ ^{わたし}私は、「どのくらいのリスクがあるかな？」と考えることができると思う
- ☐ ^{わたし}私は、よりよいパスワードの作り方を知っていると思う
- ☐ ^{わたし}私は、ゲームやスポーツをしていて「らんぼうな言葉」を使ってしまうことがあると思う

これらはすべて^{たんまつ}端末でできることですが、1人1台^{たんまつ はいふ}端末が配布されると、どのような「良いこと」や「便利なこと」があるでしょうか。

自分が特に「良いことだな」「便利だな」と思うことを、以下から2つ^{えら}選んでみましょう。

1
自分や他の人の考えを
すぐに共有^{きょうゆう}できる

2
すぐに調べることができる

3
^{ふくすう}複数の人と共同で
作業することができる

4
^{かんたん ひょうげん}簡単に表現することができる

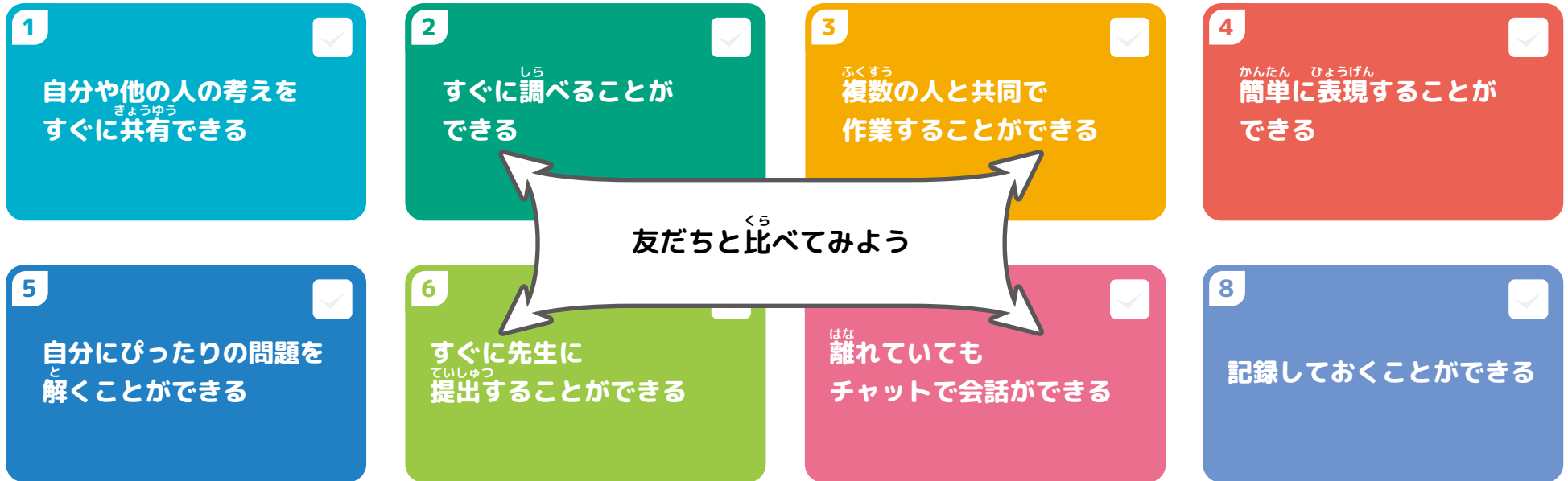
5
自分にぴったりの問題を
と解くことができる

6
すぐに先生に
^{ていしゅつ}提出することができる

7
^{はな}離れていても
チャットで会話ができる

8
記録しておくことができる





★ スキルのポイント

これまでは、自分の考えや友だちの考えを黒板に書くことで共有することができましたが、
端末があれば、すぐに考えを共有することができます。

また、調べたり、記録したり、表現することも、端末なら簡単にすることができます。

こうしたことがすぐに、簡単にできる端末ですが、こうした良さをもっと活かすためには、みなさんには、「自分や他者の権利を尊重し、何が正しい情報なのかを判断する力」を身につけてほしいと思います。



キーボードで入力してみよう

次の4つの文章をキーボードを使って、入力してみましょう。

1

好きなキャラクターをかく

2

ものおとに気づく

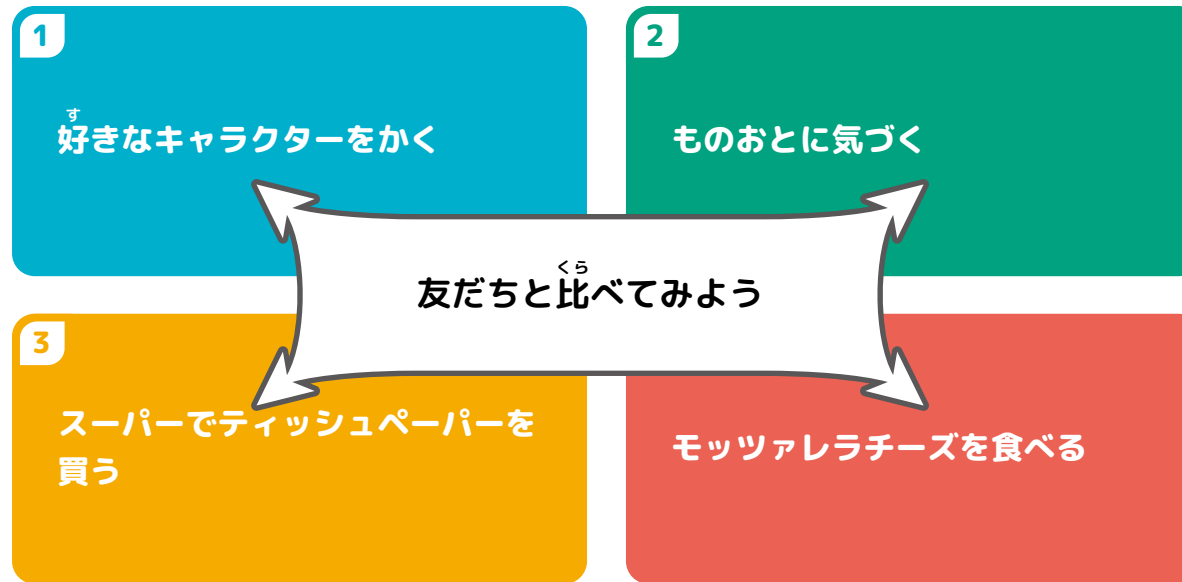
3

スーパーでティッシュペーパーを
買う

4

モッツァレラチーズを食べる





★ スキルのポイント

キーボードで入力するスキルは、ぜひ高めておきましょう。

「キャラクター」、「気づく」、「ティッシュペーパー」「モッツァレラチーズ」は、なかなか入力が難しい言葉です。

「キャ」は「KYA」、「づ」は「DU」、「ティッシュ」は「THISSYU」、「ツァ」は、「TSA」または「TULA」で入力できます。くり返し、練習してみましょう。

la → あ	xa → あ
li → い	xi → い
lu → う	xu → う
le → え	xe → え
lo → お	xo → お
ltu → っ	xtu → っ

次の5つのトラブルについて、「自分がやってしまいそう」な順に並べてください。

- 1**

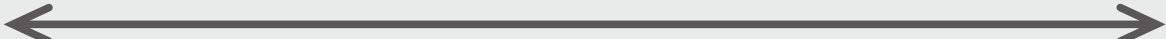
じゅぎょう
 授業中に
 バッテリーが切れて
 しまう
- 2**

 落としてこわして
 しまう
- 3**

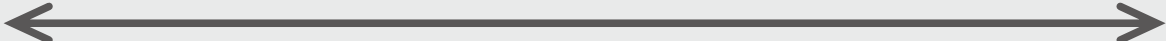
 学習と関係のない
 サイトや動画を見
 てしまう
- 4**

 勝手に友だちの
 写真を撮とって
 しまう
- 5**

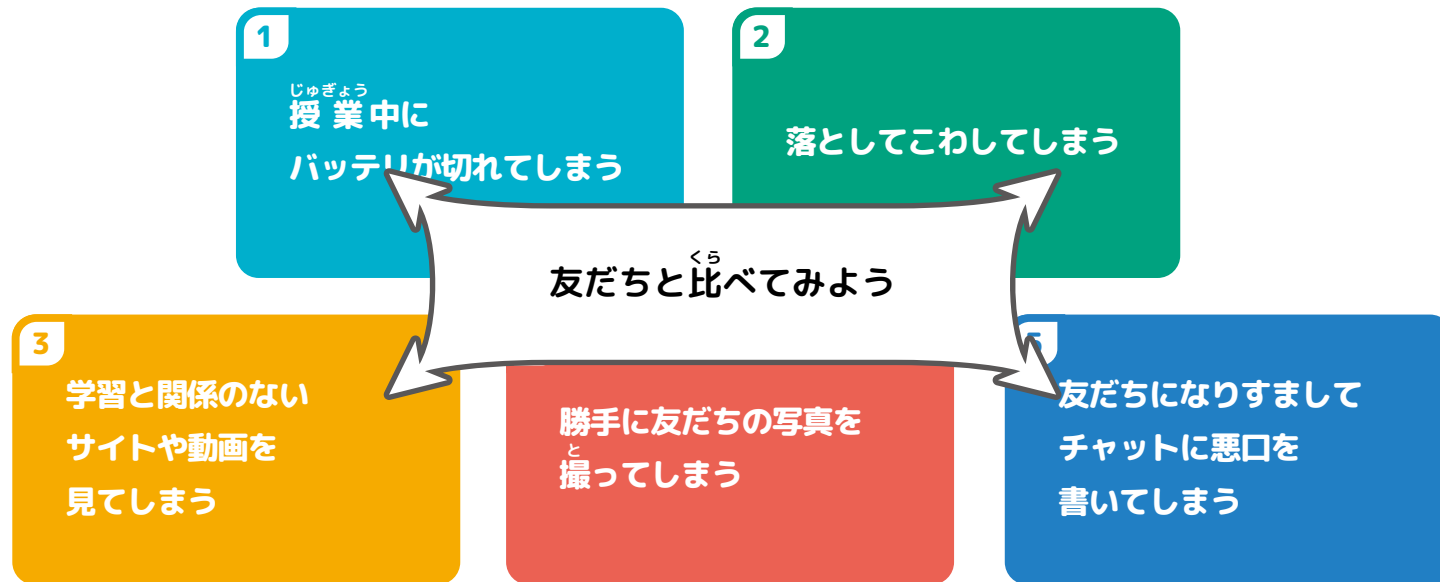
 友だちになりすま
 してチャットに悪
 口を書いてしまう

やってしまいそう
 
 やらないだろう

次に、「このクラスで発生しそう」な順に並べてください。

とても発生しそう
 
 ほとんど発生しないだろう





★ スキルのポイント

たんまつ 端末を使う時に心配なのが、様々なトラブルです。

じゅうでん わす 充電を忘れてバッテリーが切れてしまったり、落として画面がわれたりすると、学習に使えなくなります。こうしたトラブルを防ぐために、どのようなことをに気をつければよいかを考えてみましょう。

また、学校のたんまつ 端末は、「学習の目的」で使うために配布されています。学習に関係のないことをしたり、他人を傷つけたりしないよう、自分が注意するとともに、そのようなことをしている人に、「どのように注意すればよいか」を考えてみましょう。



どのくらいのリスクがあるかな？

次のことは、どのくらいのリスク（きけんせい危険性）があるでしょうか。
リスク小、リスク中、リスク大にわけてみましょう。

1

自分のおこづかい
をこえて、ゲーム
かきん
に2,000円を課金
した

2

スマホを夜おそ
くまで使って、
じゅぎょうちゅう
授業中に少しね
てしまった

3

自分が食べた料理
りょうり
の写真を家族のグ
ループチャットに
送った

4

こうつうりょう
交通量の多い道路
をスマホを見なが
ら歩いた

リスク小

生活や命にえいきょうはほとんどない

リスク中

生活や命に少しえいきょうがある

リスク大

生活や命に大きなえいきょうがある



かいとうれい
解答例

リスク小

生活や命にえいきょうはほとんどない

3

自分が食べた料理
の写真を家族のグ
ループチャットに
送った

リスク中

生活や命に少しえいきょうがある

1

自分のおこづかい
をこえて、ゲーム
に2,000円を課金
した

2

スマホを夜おそ
くまで使って、
授業中に少しね
てしまった

リスク大

生活や命に大きなえいきょうがある

4

交通量の多い道路
をスマホを見なが
ら歩いた

★ スキルのポイント

スマホやタブレットを使うことで、たくさんのメリットもありますが、リスク（危険性）もあります。こうしたリスクを考えるときは、すべてのことを同じレベルのリスクととらえるのではなく、リスク小、リスク中、リスク大とわけて考えてみる大切です。

絶対にさけなければならない「リスク大」には、どのような行動があるかを考えてみましょう。



次の4つのパスワードを「問題はありません」「注意が必要」に分けてください。

1
GbYPv2A

2
yCZigxZYWb8
FxLjLepBDFsnJ

3
yamada

4
1214

問題はありません

A

B

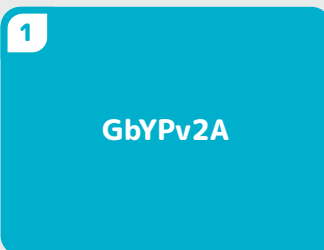
注意が必要



せいまい
正解

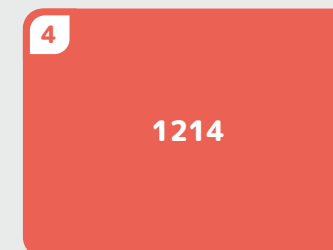
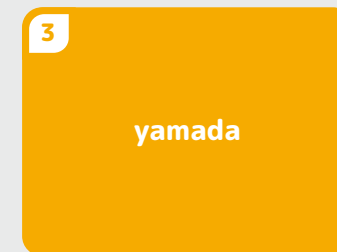
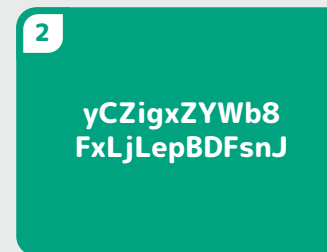
問題はあまりない

A



B

注意が必要



★ スキルのポイント

これから、いろいろなところでパスワードを使ってログインすることがあります。

いつも使うパスワードはとても大切なものなので、他の人に教えたり、^{かんたん}簡単に^{すいそく}推測されたりすることがないように管理する必要があります。

パスワードは、大文字や小文字、数字などを組み合わせるとより安全になります。あまりに短すぎるものや名前、^{たんじょうび}誕生日など^{すいそく}推測されやすいものは注意が必要です。また、あまりに長すぎると、^{わす}忘れてしまうこともあるから注意が必要です。

らんぼうな言葉を使ってしまう時は

あなたがゲームやスポーツをしていて、「らんぼうな言葉」を使ってしまう場面を考えてみましょう。
どんな時に、どんな言葉を使ってしまうでしょうか。

どんな時？

1

負けそうなとき



2

負けたとき



3

ミスしたとき



4

こうげきされたとき



5

むずかしいとき



6

あおられたとき



7

こうげきするとき



8

回線がおそいとき



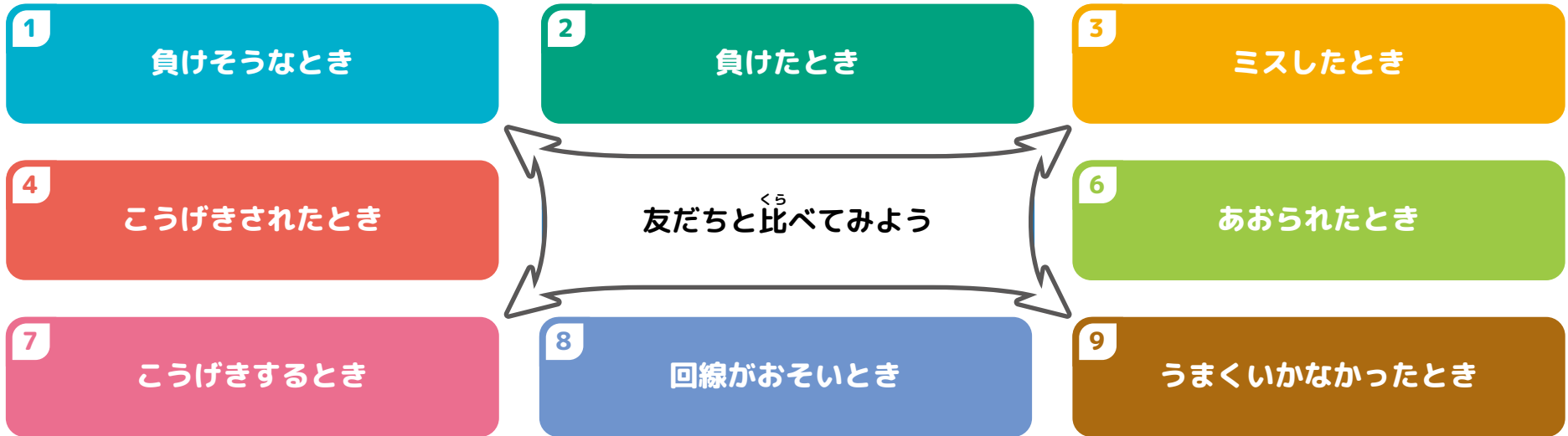
9

うまくいかなかったとき



どんな言葉？





スキルのポイント

負けそうなきやうまくいかなかったときなど、ついついらんぼうな言葉を使ってしまうがちです。しかし、一緒に遊んでいる人がそれを聞くと、いやな気持ちになることもあります。

そんなときは、らんぼうな言葉を別の言葉にいいかえてあなたの気持ちを表現^{ひょうげん}してみましょう。どんな言葉なら相手をいやな気持ちにしないで表現^{ひょうげん}できるでしょうか。





使う前に

まとめ

よき使い手になるために

たんまつ
端末は、使おうと思えば、学習にも遊びにも使えてしまいます。

「なぜ、たんまつ 端末がはいふ 配布されているのか」、その理由を考えながら、たんまつ 端末を有効にゆうこう 使っていきましょう。

チェックしてみよう

- ☐ わたし 私は、たんまつ 端末を使うと、どのような良いこと・便利なのがあるかを説明することができる
- ☐ わたし 私は、キーボードで文字を入力することができる
- ☐ わたし 私は、たんまつ 端末を大切に使うために行動できている
- ☐ わたし 私は、「どのくらいのリスクがあるかな？」と考えることができる
- ☐ わたし 私は、よりよいパスワードの作り方を説明することができる
- ☐ わたし 私は、ゲームやスポーツで「らんぼうな言葉」を使わないように工夫することができる



使う前に

これからの社会では



これまでのパスワードは、「文字」や「数字」が中心でしたが、これからの社会では、「顔」「声」「指」などで^{にんしょう}認証し、パスワードを覚えたり、^{いしき}意識したりしない社会になっていくと言われています。

大切な^{じょうほう}情報を守るために、企業でも様々な^{きぎょう}認証方法^{にんしょうほうほう}を研究しています。

考えてみよう①

今後、体のどの部分が^{にんしょうほうほう}認証方法として使えるようになるだろうか？

考えてみよう②

もし、その^{にんしょうほうほう}認証方法が使われるようになったら、どんな問題が起きるだろうか？